

CV-22 オスプレイの横田基地への配備に対する決議

平成27年5月11日、米国政府から日本政府に対して接受国通報があったとの連絡が、防衛省北関東防衛局から福生市にあった。

同月12日及び15日には、外務省及び防衛省の担当者が福生市に来庁し、平成33年までに計10機のCV-22オスプレイを横田飛行場に配備し、そのうち最初の3機を平成29年の後半に配備する計画がある旨、また、CV-22オスプレイの横田基地への配備の理由、その安全性、訓練・騒音などについて説明が行われた。

横田基地は、人口が密集した市街地に所在しており、かねてより航空機騒音に悩まされ、また、航空機の部品落下といった人命にかかわる事故への懸念などからも、周辺住民の日常生活での不安が続いている。

福生市議会では、平成25年7月のCV-22オスプレイの横田基地配備検討報道に対し、同年9月26日付けで、「CV-22オスプレイの横田基地配備検討の撤回を求める意見書」を防衛大臣、外務大臣、防衛省北関東防衛局長に提出し、政府が米国政府に対し、CV-22オスプレイの米軍横田基地への配備検討の撤回を強く働きかけるよう求めている。

そのような中で、今回、CV-22オスプレイの横田基地への配備が突然発表されたことは、誠に遺憾であり、これ以上の基地機能強化は認められない。

さらに、平成27年5月18日には、MV-22オスプレイが米ハワイ州において着陸に失敗し、死亡者及び負傷者を出したとの報道があり、市民の安全性への懸念は大きくなっている。

よって、福生市議会は、政府に対し次の事項を強く求める。

- 1 さらなる具体的な説明を行うこと。
- 2 米国政府に対し、CV-22オスプレイの米軍横田基地への配備計画の再検討を強く働きかけること。

以上、決議する。

平成27年6月9日

福 生 市 議 会